

石狩川における自然再生とは？

石狩川における自然再生とは、かつてこの流域に広がっていた湿地や水辺の自然環境を取り戻し、動植物と人が共に暮らせる川づくりを目指す取組です。この活動は、国土交通省、地方自治体、地域の皆さん、専門家などが協力して進めており、全国でも注目されている「自然再生事業」の一つです。

なぜ自然再生が必要なの？

石狩川流域は、かつては湿地や蛇行する川、森や草地など、多様な自然に恵まれた場所でした。しかし、長年にわたる治水(洪水対策)や開発、農地整備などにより、自然の姿は大きく変わり、多くの生きもののすみかが失われてしまいました。

近年では、「洪水を防ぐ」だけでなく、“自然の力を活かした川づくり(グリーンインフラ)”が重要視されるようになり、こうした流れの中で「自然再生」の取組が進められています。

何を目指しているの？

失われた自然を取り戻すこと

- 昔あった湿地や森林、水辺などを再びつくることで、自然の豊かさを回復します。

いろいろな生きものを守ること

- 魚や鳥、昆虫など、たくさんの生きものがすめる環境を整えます。

人と自然が共にある地域づくり

- 川のそばで安心して暮らせるよう、地域の暮らしと自然が調和したまちづくりを目指します。

具体的な取組(例)

湿原の再生

例:幌向地区で、湿原の保全・再生に取り組んでいます。

魚が行き来できるようにする整備

魚道(魚の通路)や水路を整えて、魚が自由に移動できるようにします。

希少な動物の保護

タンチョウなど、貴重な生きものも安心して暮らせる場所をつくります。

地域の人たちとの協力

住民の皆さんや学校、ボランティアの方と一緒に活動や学習を進めています。

